



# 土堂小 自ら学ぶ 学校だより



尾道市立土堂小学校  
令和5年6月1日 第3号

〒722-0032 尾道市西土堂町 18-6  
電話:0848-23-3921 FAX:0848-23-3922  
e-mail:tsuchido-e@onomichi.ed.jp



学校教育目標:志を持ち、未来を拓く子どもの育成

## ～ 行事を通して また一つたくましく成長する子供達 ～

あじさいが美しく彩りを添える季節を迎えました。先日の運動会には、大変暑期中、子供達に温かいご声援をありがとうございました。子供達は、4年ぶりの運動会に熱い思いをもって臨み、目標である「笑顔・全力・土堂っ子」の姿を見せてくれました。運動場一杯に子供達の笑顔が溢れ、地域・保護者の皆様方から温かなご声援をいただき、教職員も子供達と共に取り組む。皆様のおかげで、コロナ禍に出来なかった「みんなが集って創り上げる運動会」を開催することが出来ました。本当にありがとうございました。また、アンケートにも温かな感想を書いていただきました。テント等課題については、次年度の改善につなげて参ります。

行事で成長した力をさらに伸ばすために、6月は、講師を招聘して研修を行う月としています。今、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。この学びを支える力の一つとして「メタ認知能力」があげられます。能の創始者である観阿弥は、著書『風姿花伝』で、「能を演じる者は、演じているもう一人の自分を見つめ演じている自分の存在が大切」と述べています。「もう一人の自分」を意識する力を心理学ではメタ認知能力といいます。「自分にとって今、何が問題になっているのかを推論していく能力」「問題の解決方法を予測し、具体的な解決策を立てる能力」「目標と結果を予測し、方策の続行や中止を柔軟に判断する能力」等もメタ認知能力と言えます。主体的に自分を見つめ、粘り強く考え、仲間と共に対話しながら、よりよい考えを見つけ出し「深い学び」が生まれるような日々の授業の研鑽を行い、子供達にしっかりとした力を付けていきたいと考えます。

今日、6月1日は、123回目の創立記念日となります。

今年度も、一堂に会する式典は出来ませんでした。子供たちと教職員と共に創立記念日について考え、大好きな土堂小学校で学ぶことのできる喜びを、しっかりと心に刻む日としました。記念行事として、オンラインでフジテレビアナウンサー 西山喜久恵先生に「コミュニケーションの大切さ」についてご講演いただきました。子供達は、多くのことを学ぶ機会となりました。

地域の皆様、保護者の皆様、改めまして、土堂小学校へのご支援ご協力に、心から感謝申し上げます。引き続き、よろしく願いいたします。



教えていただいたことをもとにインタビューをしています。

## 4年生ええじゃん 審査員特別賞受賞！

4月30日(日)に、4年生が、尾道みなと祭「ええじゃん SANSA・がり」踊りコンテストに参加しました。

海岸通りを4回、ステージで1回の計5回、たくさんの方々の前で、楽しく堂々と踊りました。尾道に住む人尾道に訪れた人、たくさんの人に、土堂っ子の元気さと尾道の伝統「ベッチャー」、土堂の伝統「土堂っ子太鼓」を伝えることができました。

4年生は、練習の時から、踊りをよりよくするためにお互いに意見を出し合ったり、動きや掛け声を考えたりしていました。練習を見に行くたびに上手になっていく姿が見られました。

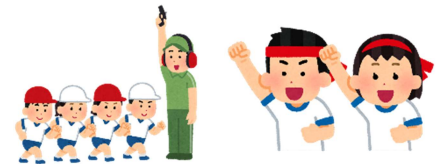
その4年生のがんばりが評価され、「審査員特別賞」をいただくことができました。このええじゃんを通して、学級の・を深めたり、表現力を身に付けたりすることができたように思います。考える力も身についたように思います。4年生として、良いスタートが切れたと思います。4年生の今後のがんばりに期待がふくらみました。

4年生おめでとう！





## 春季運動会



5月21日（日）は、4年ぶりの学校行事としての運動会でした。

4月後半から、運動会に向けた動きが始まり、ゴールデンウィーク明けから、本格的に練習が始まりました。「笑顔・全力・土堂っ子」のテーマを掲げ、どの学年も、暑さと戦いながら、笑顔で精一杯がんばっていました。

当日は、子供達のがんばりに応えるかのように、絶好の運動会日和でした。

入場から始まり、開会式を行いました。「運動会を開会します。」に対して、「はいっ！」という元気な返事ができ、朝礼台の上がる人の方を向いて、姿勢を正して話を聞いていました。6年生は、児童代表挨拶や選手宣誓など、それぞれの担当が役目の責任を果たしていました。下級生から見ると、かっこいい憧れの姿だったと思います。

競技では、子供達の真剣に取り組む姿、必死にがんばる姿、楽しそうな姿、うれしそう姿、悔しそう姿など、たくさんの姿が見られました。

1・2年生は、徒競走で70mを自分のコースを守り、最後まで駆け抜けました。団体競技では、どうやったら玉が入るかを考えて投げていました。途中の踊りも、一生懸命踊ってかわいかったです。表現では、先生の動きを見なくても、自分で考えて、体いっぱいを使って、曲に合わせて動いていました。

3・4年生は、徒競走で110mを走りました。長かったです、最後まで走り切りました。団体競技では、台風の内側と外側の動きを考えながら回ったり、声をかけあって棒を飛び越えたりしていました。表現では、ええじゃん運動会バージョンでかっこよく踊ってくれました。3年生もお面をつくってがんばりました。

5・6年生は、リレーで練習を積み上げたバトン渡しの成果を発揮するだけではなく、バトンをもらう位置まで考えていました。どのチームも絶対に諦めない走りを見せてくれました。団体競技では、歯を食いしばって、必死になって縄を引っ張り合う姿を見せてくれました。表現では、途中でサプライズを入れながら、楽しそうに表現する姿を見せてくれました。組体操からダンス等の表現運動をするようになってきて、顔の表情を含めて全身で表現する姿が見られました。さすが高学年！という感じでした。

本校では、教育活動全体で、「つながる知識」「試行錯誤力」「主体性」「協働性」という4つの資質・能力を育成しています。運動会でも、これらの力を意識して練習をしてきました。どうやったらうまくなるか、どうやったら速くなるかなど、自分で考えたり、友達と考えたりし、何度も「試行錯誤」する姿が見られました。しっかりと力が付いていることを実感しました。

保護者の皆様には、前日準備、当日の応援、太鼓の準備や片付け、テントの片づけ等、大変お世話になりました。運動会が開催できたのは、保護者の皆様のおかげです。しかしながら、テントの設置や参観場所、駐車場など、行き届かないことがあり、ご迷惑をおかけするところもありました。課題については、来年度に生かしていきます。

今後も教育活動の充実を図ってまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。

